

太田市景観 企業・団体ヒアリング結果【概要】

－規制等の意向調査－

□調査趣旨・目的

太田市には、自然や歴史の景観、都市の景観、まつりなどの暮らしの景観など、地域の特性が表れたさまざまな景観が広がっています。本市は、これまで「群馬県景観条例」などに基づき、これらの景観の保全・形成に取り組んできました。しかし、今後は景観法に基づく本市独自の景観計画を策定し、市民や企業と市役所とが協働することによって、「太田市らしさ」を活かした愛着のもてる景観づくりを積極的に推進していきたいと考えています。

そのため本調査では、市内の企業・団体を対象に、主に以下の項目についてご意見を伺いました。

○市民・企業等・行政の連携による景観形成方策

○景観計画、景観条例および屋外広告物条例に基づく規制・誘導のあり方

□調査概要

企業・団体ヒアリング調査の概要は以下のとおりです。

	①建設業に関する 主な団体	②文化財、農業・造園 業に関する主な団体	③商業に関する 主な団体	④工業に関する 主な団体
日時	平成20年8月21日(木)		8月22日(金)	
	10:30～12:00	13:30～15:00	10:30～12:00	13:30～15:00
場所	太田市役所			
対象	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県宅建協会 太田支部 群馬県建築士会 太田支部 太田広域建築業組合 群馬県建築士事務所協会太田支部 群馬県建設業協会 太田支部 群馬県行政書士会 太田支部(※) 	<ul style="list-style-type: none"> 藪塚本町農業協同組合 太田造園協会 新田荘史跡ガイドの会 太田市 新田史跡ガイドの会 太田市文化財ボランティアの会 	<ul style="list-style-type: none"> 藪塚旅館組合 太田流通センター卸協同組合 太田商工振興連合会 	<ul style="list-style-type: none"> 太田商工会議所 上武カラー印刷 三菱電機 日野自動車 富士重工業 三洋電機

※群馬県行政書士会太田支部は書面で回答をいただきました。

□結果のまとめ

・各企業・団体では、それぞれの立場で景観づくりの活動が行われています。今後は、企業・団体同士の連携、行政との連携等による景観づくりが大切であるとの意見がありました。

・各企業・団体では、良好な景観づくりのための一定程度の規制・誘導は必要だと考えています。ただし、コーポレートカラーや産業振興（商店街、観光等）に配慮する必要があるとの意見がありました。

【問い合わせ先】

太田市役所 都市計画部 都市計画課 まちづくり推進係
 電話： 0276-47-1839 (直通) FAX： 0276-47-1883
 メールアドレス： 030300@mx.city.ota.gunma.jp

□企業・団体ヒアリング調査結果（概要）

各企業・団体の皆さんに景観に対する意識・考え方を伺いました。いただいた主な意見は以下のとおりです。

①建設業に関係する主な団体

- ・ 南一番街では、風紀を乱す店舗に対して規制する条例を策定し、そのような業種は受け入れないことを周知徹底していく必要がある。また、屋外広告物を規制していく必要がある。
- ・ 市がリーダシップをとり景観誘導の方向性を示してもらった方が、不動産業界も取り組みやすい。
- ・ 最近では、派手な色の大手ハウスメーカーのプレハブ住宅が目立ち、大工が建てる昔ながらの木造の建物が減ってきている。昔ながらの個性や見ごたえのある木造の建物を残していきたい。
- ・ 業者が建築する場合に、色彩などを相談できる窓口を市役所がつくるべき。
- ・ 既存の建物の色を変更する場合は経費が発生するが、新築の場合は、特別な費用負担はない。まずは新築の建物に適用しやすい色、高さ、看板の大きさの規制を行っていくべき。
- ・ ヨーロッパのように同じような色を用いた建物が連なる街並みも良いが、日本らしくない気がする。各エリアで使用しても良い色の大きな範囲を定めることで、自然とまとまりがでてくるのでは。
- ・ 10年先、20年先のビジョンを持って、道路づくりから都市計画を始めることが重要である。
- ・ ラスベガスやハリウッドなどのように、巨大な看板や建築物をランドマークとして、観光資源化することも考慮する必要がある。



②文化財、農業・造園業に関係する主な団体

- ・ 太田市が支援して、丸山宿近辺を観光の拠点にしたらどうか。
- ・ 市の観光ガイドには寺院の花の名所が記載されているが、実際はなくなっている場所が多い。大光院の境内も同様で、葛の花が綺麗に見えるよう整備すべき。
- ・ 金山は太田市のシンボルとなっているが、逆に金山があるからこれ以上街なかに緑は必要ないという考えが昔からあったため、街なかに緑が少なくなってしまったのではないか。
- ・ 金山以外にも尾島公園など素晴らしい場所はたくさんあるが、今は雑草の繁茂が目立つ。
- ・ 旧新田町には松の並木や安らぎのある綺麗な森があるが、付近で堆肥が山積みになっているところがある。
- ・ 藪塚の幹線道路やインターチェンジ周辺では、プランターを置き、草花を植える活動をしている。他の地域でも同様の取り組みを進め、道路景観を良くしていきたい。
- ・ 平地にもっと緑を増やすため、鎌倉のように各家庭で個性を活かした生垣づくりを取り組めば、歩くことが楽しくなるのではないか。
- ・ 太田市では、参加人数は少ないがガーデニングコンクールが行われている。数年前までは生垣コンクールも行われていた。
- ・ 中心部の景観を良くするだけでなく、農村部にも配慮して欲しい。



③商業に関係する主な団体

- ・ やぶ塚温泉地区には温泉街としてまとまった街並みがなく、他の温泉街と比べて温泉地らしさを感じない。
- ・ 藪塚駅からの田園風景は見晴らしも良く綺麗だが、単調でインパクトに欠ける。
- ・ やぶ塚温泉地区には手つかずの良い自然が残っている。遊歩道をつくる、里山の風景を守るなど、自然を活かした工夫をしていくべき。
- ・ やぶ塚温泉地区周辺では、昔、石切場が有名であったが、今は草が茂り整備されていない。
- ・ 耕作放棄地に設けられた屋外広告物が田園景観を阻害しているが、地主の収入源となっているので、屋外広告物を撤去するのは難しい。
- ・ 流通団地は太田市と協働で、まちづくりのルールを定め、派手な色の制限、看板の色の統一、幅1.5mのグリーンベルトをつくり街路樹を植えるなど、良好な景観に配慮した取り組みを行っている。
- ・ 流通団地の環境整備を進めるとともに、周辺住民と一緒に清掃活動を行うなど、周辺地域も巻き込んだ良好な景観づくりを進めていきたい。
- ・ 商工会議所のこれまでの取り組みは、空き店舗対策や来店するお客様の利便性が中心であり、景観づくりはこれからの課題である。
- ・ 本町通りなど、太田市街に空き店舗が目立つが、歩道が広いという良い点もある。



④工業に関係する主な団体

- ・ 屋外広告物の掲出禁止地域の指定など、屋外広告物の規制が厳しいと商売に影響してくるので考慮して欲しい。色彩や形状の統一など、景観に配慮した工夫を行えば屋外広告物があっても問題ないと思う。
- ・ コーポレートカラーについては基本的に譲れないという会社が多い。また、全体的な屋外広告物の色に対しての規制は行われていても、社名やロゴの部分だけは規制の対象としていない。
- ・ 一般的に使用されていない色彩を建物の外壁のルールとして定めた場合、塗装し直す時に同じ色を作り出すのが難しいのではないかと。
- ・ 企業間で連携し、景観に対して何をすべきか具体的に考えていく必要がある。



<企業ごとの景観に対する主な取り組み>

日野自動車	工場周辺の清掃美化活動、地域との情報交換会（早川工場）、夏祭りの開催、地域の体育祭参加 など
三菱電機	独居老人宅の樹木選定、尾島ねぷたまつりへの参加 など (三菱群馬ボランティアによる取り組み)
富士重工業	金山の美化活動、工場周辺の花壇づくり等の地域貢献活動 など (スバル地域交流会による取り組み)
三洋電機	金山の除草刈り、周辺道路の清掃活動 など